

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年7月16日  
派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	恵那市	代表者名	小坂 喬峰
担当者部署	情報政策課	連絡先電話番号	0573-26-2111
担当者役職	係長	担当者氏名	伊藤 親司
住所	509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1		

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名			

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市川 博之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	ICT活用推進委員会でDXについて今までの経験や見識から貴重なお話をいただきました。委員のDXへの考え方も進んだと考えます。会議の中でも適宜アドバイスをいただきました。
アドバイザーへの要望事項	

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年7月19日	13時00分	14時00分		60
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 職員・一般・計画策定アドバイザー	人数 15人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	・恵那市ICT活用推進委員会で次期ICT活用推進計画を策定するにあたり、今までのICT活用推進計画の違いとしてDXを踏まえた計画を策定していく上で、委員に違いと必要性を理解してもらうにはどのようにしたらよいか。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	・DXへの理解。 ・ICT活用推進計画策定への方向性を確認。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・DXの概要と考え方。 ・DXへの取り組み事例の紹介。 ・ICT活用推進計画の策定方針へのアドバイス。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	・委員がICT活用推進計画とDXとの関係性について理解された。 ・計画において、システム導入ありきではなく、ニーズなどの整理が必要とアドバイスをいただいた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	次回、委員会開催のスケジュール	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	第2期恵那市ICT活用推進計画の策定	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

